

サステナビリティ「sustainability」

～私たちの共有の未来～

コース・専攻: 生活環境コース

グループ名: クリエネ4

メンバー: 垂井剛 佐々木俊雅 蘭田真由美 丸田久美子

サステナビリティ(sustainability)

～私たちの共有の未来～

私たちのグループはサステナビリティについて学び、世界や日本でどのような取り組みがされているか知りた
いと思いました。

そこでまず、世界で先駆的にサステナビリティに取り組んでいると言われるスウェーデンに行くことにしました。
観光地を巡るのではなく、One Planet Cafe主催の SDGs Study Tours に参加して環境・経済・社会の観点
から視察してきました。また、日本での取り組みを知るために、五島列島の洋上風力発電、苫小牧のCO2埋蔵
施設、六甲川小水力発電、徳島県上勝町ゼロ・ウェイストセンターに見学に行きました。

まさしく「百聞は一見にしかず」で、現地での説明を聞いて驚いたり感動したりの連続でした。自然と共存しな
がら人が豊かに暮らして行けるように、人智を尽くし労力を惜しまず継続して取り組む人たちの姿を見て、話を
聞いて、私たちはまだまだ学び続けようと思いました。



サステナビリティ(持続可能性)の3つの柱

1. 環境
自然資源の保護と管理、環境への負荷の低減。
2. 経済
経済の成長、雇用の創出、再生可能なエネルギー利用。
3. 社会
社会的な平等、健康、教育、コミュニティの強化。

私たちは、身近で出来ることからサステナビリティに取り組ん
でいきたいと思いました。ゴミの分別や節電、節水も大切で
す。ただ、知られていないことが沢山あるのだと知りました。多
くの人たちが、世界の取り組みを知ることで意識が高まって、
より良い方向へ、少しでも早く進歩していけるような気がしてい
ます。

少数の国が利益を追求するのではなく、より多くの人々が豊
かに暮らせたなら、健康的な生活ができれば、地球の持続可能
性は大きく進歩して行くはずだと思います。

「青い空は 青いままで 子どもらに伝えたい」

この写真はサステナビリティの学習の中で、私たちが愛すべき美しい地球と、誰もが幸せを共有できる社会実
現への思いを表現しています。